

現状カルテ整理の方法

参考資料 5 に示すとおり、収集した情報は、「現状カルテ」に整理する。

委員の皆様には、生物分類群毎の現状カルテ一式をご確認いただき、「保全・再生にあたっての課題」欄の事務局案の確認、必要に応じて修正・加筆を行っていただきたい。

修正・加筆の手順

- (1) 「現状カルテ」に整理された各湿地の現状を確認する
- (2) 環境が悪化傾向にある湿地については、その原因を確認する
- (3) (2) で示した原因を取り除くための「課題」を示す

具体例

重要湿地 No. 88 「蕪栗沼」(淡水魚類)

湿地の陸地化対策と外来種対策。外来種対策については、アメリカザリガニとオオクチバスの個体群密度を低減させること。

留意点

- 課題には、実現可能で、今後の取組目標となることを記す
- 目指すべき方向性は、『生物多様性国家戦略 2012-2020』のなかの記述に沿うことを基本とし、個々の湿地の特性を考慮する

- 上記の方針で、整理された「現状カルテ」は、2月頃に開催予定の第3回検討会における基礎資料とする予定である
- 現状カルテの原稿は、第2回検討会終了後に、事務局から委員に提供する
- 委員は、第1回検討会後に対応していただいた「担当検討委員判定」等に記載内容の追加・変更があれば、あわせて加筆・修正する

以上